



御嵩町環境モデル都市行動計画の概要

御嵩町では、これまで「活力ある環境にやさしいまち」を目指し、町の特色を生かした環境対策を進めてきたところです。そして平成25年3月15日、岐阜県内唯一の「環境モデル都市」に選定されました（平成26年3月現在）。これを機に、町では地球温暖化対策のさらなる強化に努めます。

「環境モデル都市」の施策実現のため、公共交通機関の活用、家庭内の省エネルギー活動やごみの減量などを通じて、町民・事業者の皆さんと連携・協力をしながら、この計画を推進していきます。

■環境モデル都市とは

地球温暖化の原因となる温室効果ガス（二酸化炭素など）の大幅な削減目標を掲げ、先駆的な取組にチャレンジする都市として政府から選定を受けた都市のことです。

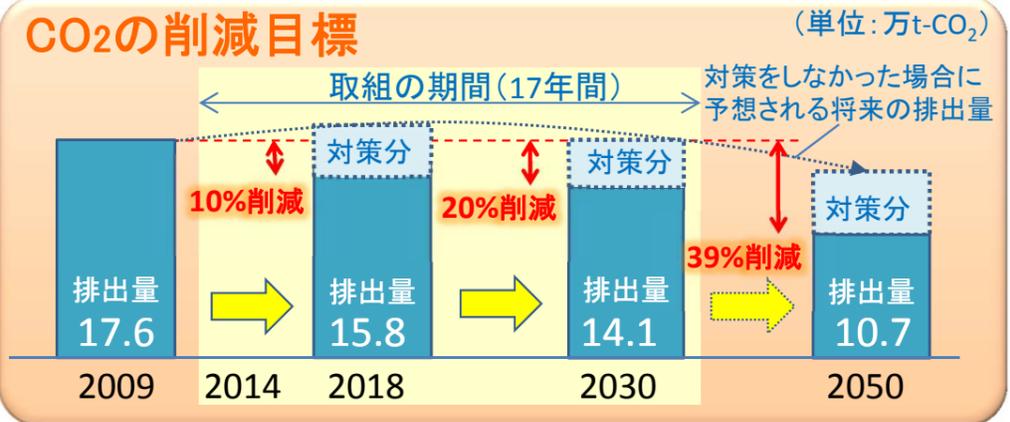
平成26年3月現在、全国で23自治体が環境モデル都市に選定されています。

環境モデル都市一覧



■御嵩町が掲げるCO₂の削減目標 (2014年度取組開始) (2009年度比)

- ・2014年度～2018年度（5年後）までに10%削減
- ・2030年度（17年後）までに20%削減
- ・2050年度（37年後）までに39%削減



■御嵩町が目指す“環境モデル都市像”と5つの取組方針

森林の再生

- ・「森林経営信託方式」による森林整備を続けるしくみづくり
- ・企業や、^{みどり隊}水土里隊など森林ボランティアによる森づくり
- ・自生木等苗木育成と緑化推進

御嵩町が目指す“環境モデル都市像”
地域資源を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」

御嵩町が目指す“環境モデル都市像”の実現イメージ



温室効果ガスの排出削減活動を通じて、御嵩町の活力向上につなげていくことを目指します！

分散型

エネルギーへのシフト

- ・公共施設（避難所）へ再生可能エネルギーの導入
- ・公民館（避難所）等の空調設備省エネ化

公共交通の再生と次世代自動車への転換

- ・名鉄広見線活用等による公共交通への転換
- ・パーク＆ライド拠点の拡充
- ・次世代自動車等の普及促進

人づくり・場づくりの推進

- ・将来を担う子どもたちへの環境教育
- ・町内外の高校との協働・連携による人材育成を通じた環境教育の推進

家庭・事業所での削減活動

- ・向こう三軒両隣 節電チャレンジによる省エネ活動の推進
- ・災害時における地域支援条件付太陽光発電設置支援
- ・エコ住宅の推進



1 森林の再生



みたけエコシンボルキャラクター ミーモくん

方針

御嵩町は、民間事業者が持つ森林施業のノウハウや信用力を活用し、かつ町の公費を支出することなく町有林の適正な管理と森林資源の有効活用を図っていくための仕組みとして、平成23年（2011年）に全国で2例目となる**森林経営信託方式**を採用しました。

今後、この方式による森林整備面積を民有地も含めて拡充することで、CO₂吸収量を大幅に増加させるとともに、**持続可能な森林経営モデル**として確立し、推進するものです。

また、企業や住民ボランティアとともに、人と自然が共生できる本来の里山の姿に戻すための、資源循環型の森林・里山保全の仕組みをつくり、**CO₂吸収量の更なる増大と環境の新たな担い手の育成**を同時に目指します。

取組にあたっては、**住民、学校、ボランティア団体、企業など、様々な主体による参加**のもと、社会全体による森林や里山の再生を推進します。

内容

◆ 森林経営信託方式による持続可能な森林経営モデルの推進

- 森林経営信託方式により、信託契約先の可茂森林組合とともに、健全で豊かな森づくりを計画的に推進します。
- 町有林に隣接する民有林にも施業範囲を拡大して森林経営を実施します。

◆ 企業や森林ボランティアによる森づくり

- 企業が社会貢献活動のため自ら水源林整備に取り組む「企業の森」づくりを推進します。
- 御嵩町住民の森林ボランティア「みどりたい水土里隊」の取組を拡充します。

◆ 自生木等苗木育成と緑化推進

- ボランティア団体の協力のもと、自生木等苗木を育成します。
- 町内環境イベント開催時などに、苗木を広く住民に配布します。

◆ 体験型環境教育の拠点づくり

- 里山をフィールドにした環境教育や学習の機会を提供します。
- 町内外の企業に対して、岐阜県が推進する「企業との協働による森林づくり」制度により、町有林を提供し、間伐や植林等の森林保全活動への参加の機会を提供します。

◆ カーボン・オフセット認証取得と森林づくりへの活用

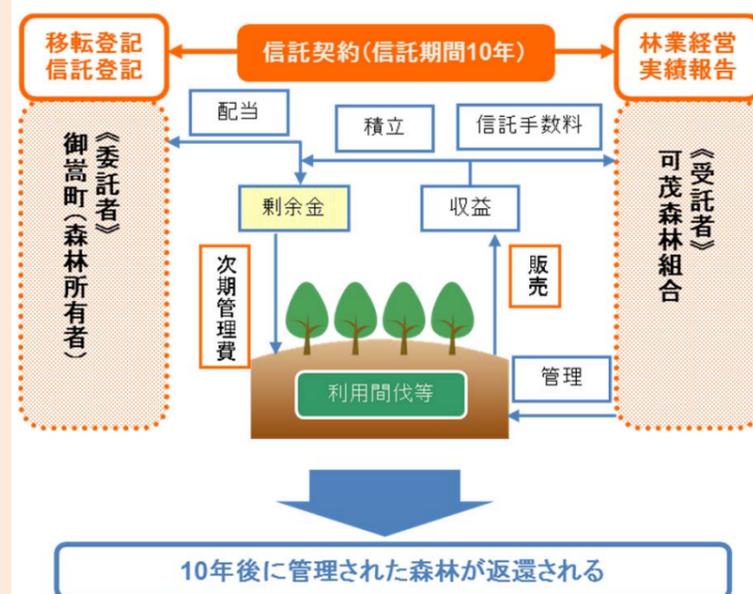
- 森林経営信託方式により整備する町有林を対象に、J-クレジット制度※1によるカーボン・オフセット認証※2の取得を目指します。
- 排出権取引により購入されたクレジットの資金は、森林づくりや環境教育の拠点事業などに活用します。

※1 省エネルギー機器の導入や森林整備などの取組による、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

※2 企業活動などから発生するCO₂排出量を、植林や森林保護活動などにより生じたCO₂の吸収量によって埋め合わせ（オフセット）したとみなす制度。森林などの吸収源を持つ団体等は、その活動を通じて得られるCO₂吸収量を販売することが可能。

◆ 森林資源の循環利用

- 森林資源の域内循環を推進するため、可茂森林組合やボランティア団体等の協力のもと、町内間伐材を利用した薪（まき）の提供や、利用促進に関する普及啓発を行います。



森林経営信託方式の仕組み



御嵩町と可茂森林組合による森林経営信託契約の締結



町内森林の整備風景

2 公共交通の再生と次世代自動車への転換



みたけエコシンボルキャラクター ミーモくん

方針

平成22年度（2010年度）に策定した「御嵩町交通部門低炭素地域づくり計画」の実施や、平成23年度（2011年度）に策定した「御嵩町環境基本計画」に掲げる重点エコプロジェクトである「エコ！お出かけ・ノーカー運動」を実践していくなかで、住民に対するモビリティ・マネジメント（MM）の周知を展開して意識改革を図るとともに、公共交通機関への接続の利便性を高めることによって、**公共交通機関の利用を促進**します。

また、**パーク&ライドの更なる利用促進**や、**自転車を利用しやすい環境整備**も併せて行い、「過度に自動車交通に頼らないまち」の実現を目指します。

内容

◆ 名鉄広見線活用による公共交通への転換

- ・鉄道利用の意義を地域住民や町内企業に働きかけます。

◆ 鉄道駅へのバスによる効率的なアクセス

- ・御嵩駅を中心にした町コミュニティバスの運行便数を増やすなど、町内での移動環境を良くするとともに鉄道駅へのアクセスも整えます。

◆ パーク&ライド※拠点の拡充

- ・御嵩駅前の無料駐車場の更なる利用啓発を行います。
- ・御嵩口駅などを候補としたパーク&ライドの拠点を追加整備します。

※ 最寄り駅まで自動車アクセスして駅に近接した駐車場に駐車し、公共交通機関（主に鉄道やバス）に乗り換えて、目的地に向かう方法。

◆ ノーマイカーデー運動の推進

- ・各家庭や事業所で無理なくできるノーマイカーデーを設け、公共交通機関を利用するとともに、自転車や徒歩で移動する運動を展開します。
- ・町の年間行事カレンダー「みたけカレンダー」に毎月1回のノーマイカーデーを定め、住民にその意義を掲示することで、同運動への参加を推進します。

◆ 次世代自動車等の普及促進

- ・公用車への次世代自動車（電気自動車、プラグイン・ハイブリッド自動車等）や低燃費車の導入などの率先的取組を推進します。
- ・広報紙配布などにより住民にエコドライブの必要性を啓発するほか、次世代自動車の普及促進を図ります。

◆ 乗りたい時に乗れる自転車環境の整備

- ・町観光協会と連携して鉄道駅にレンタサイクル拠点を増やし、町内在住者にもレンタサイクルの利用を啓発します。



町内を走る名鉄広見線



町内を走るコミュニティバス「ふれあいバス」



御嵩駅前に整備されたパーク&ライド拠点



公用車として導入された電気自動車



御嵩駅前のレンタサイクル拠点

名鉄広見線の現状

町の中心を走る名古屋鉄道の広見線（新可児駅～御嵩駅間）は、人口減少・少子高齢化等の影響から年間約2億円の赤字を抱えることとなったため、名古屋鉄道単独では路線を維持できないとの申し出があり、平成22～24年度（2010～2012年度）にわたり財政支援を行うと共に、「名鉄広見線活性化計画」により町民総参加での利用促進を開始しました。現在も平成25～27年度（2013～2015年度）までの第2期活性化計画として、利用者の減少を食い止めるための様々な施策を展開しています。

3 家庭・事業所での削減活動



みたけエコシンボルキャラクター ミーモン

方針

住民一人ひとりがすぐに行動できる普及モデルとして取り組んでいる「向こう三軒両隣 節電チャレンジ」事業について、制度改善を継続的に行いながら、一層の推進を図ります。

また、エコ住宅仕様のモデル観光施設「御嶽宿わいわい館」において、省エネ住宅のモデルとして普及・啓発を行い、民生（家庭）部門における日常生活レベルでのCO₂削減の取組の継続と、スマートハウスをはじめとする省エネ住宅化による大幅なCO₂削減を同時に推進します。

さらに家庭からの廃棄物を削減することでCO₂削減を推進するとともに、廃食用油など廃棄される資源をもとに未利用エネルギーとしての有効活用を進め、環境負荷の少ない循環型のまちづくりを実現します。

加えて、事業所の自主的な削減活動を促進するための仕組みづくりに取り組みます。

内容

◆ 向こう三軒両隣 節電チャレンジ 省エネ活動の推進

- ・町内仲良しの3世帯がグループになり、呼びかけ協力によって共同実践する省エネ活動モデルとして「向こう三軒両隣 節電チャレンジ」事業を推進します。
- ・福祉施設を積極的に活用し、クールシェア・ウォームシェア※をしていただくことで、自宅滞在時間を減らし、節電効果を向上させます。

※ 1か所の部屋や施設に集まって過ごすことにより、個別の部屋の冷暖房の使用を減らすこと。

◆ 家庭での低炭素化診断の推進

- ・環境省が実施する「環境コンシェルジュ事業」（家庭低炭素化診断&情報提供サービス）を活用するなどして、低炭素化診断を推進するとともに、省エネルギー活動や太陽光発電の普及促進を図ります。

◆ エコ住宅の推進

- ・「御嶽宿わいわい館」の研修棟において普及啓発セミナー等を開催するなどし、エコ住宅の普及促進を図ります。
- ・ホームページなどにおいて、情報提供を行います。

◆ 災害時における地域支援条件付 太陽光設置支援

- ・大規模災害により甚大な被害等が発生した場合、太陽光発電システムの自立運転機能を活用して、電気を無償で近隣世帯に融通する「共助」の約束を条件に補助する制度を活用し、各家庭への太陽光発電システムの普及を行います。

◆ 地元野菜の地産地消運動 ～宿の市フード・マイルズ～

- ・農産物直売所を設け、町内で収穫された地元野菜などの地産地消を推進します。

◆ マイバック等運動の推進とレジ袋有料化によるごみの減量化

- ・マイバック持参運動を展開すると同時に、事業者にはレジ袋の辞退率向上の協力を求めます。

◆ 生ごみの堆肥化促進

- ・家庭への堆肥化処理施設の購入補助により、生ごみの堆肥化を促進します。

◆ 徹底した資源物分別収集の促進

- ・プラスチック製容器包装リサイクルを実施し、一層のごみ減量を図ります。

◆ 廃食用油のバイオディーゼル燃料化促進

- ・各家庭から分別収集される廃食用油を、バイオディーゼル燃料化します。

◆ 事業者による主体的な削減行動の推進

- ・みたけ工業団地連絡協議会において、事業者間での情報共有や主体的な削減活動の展開を図ります。



エコ体験型モデル観光施設「御嶽宿わいわい館」



あゆみ館のリサイクルステーションにおけるごみの分別風景

4 分散型エネルギーへのシフト



みたけエコシンボルキャラクター ミーモくん

方針

御嵩町は亜炭鉱廃坑が平野部の地下に広く分布し、東海・東南海地震の際には、その影響による大規模陥没で甚大な被害とエネルギー供給インフラの途絶等が予想されています。その対策として、**再生可能エネルギー**（太陽光発電・太陽熱利用等）、**革新的エネルギー**（燃料電池・蓄電池等）、**省エネルギー**（LED照明等）、**防災技術**（貯水槽、ガスバルク等）を総合的に組み合わせ、町内の指定避難所へ段階的に導入することで、災害時において一定期間エネルギーが自給できる「**自立型避難所**」の構築を推進します。

また、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入拡大を促進するとともに、電気自動車等の可搬式蓄電池を活用して避難所間の電気の融通を行うなどの「スマートコミュニティ※」の構築に向けて、**CO₂の削減だけでなく、災害にも強い低炭素なまちづくり**に取り組みます。

※情報通信技術の活用により電力・熱、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの利用等を地域単位で最適に管理することで、そこで暮らす人や働く人がエネルギーを賢く利用できる地域社会のこと。

内容

◆ 庁舎等への再生可能エネルギーの導入

- 公共施設に太陽光発電・燃料電池・蓄電池などを積極的に導入します。

◆ 公民館(避難所)等の省エネ化とJ-クレジット※の導入

- 公民館（避難所）等を対象に、重油ボイラー施設からの高効率化空調設備への順次切り替えを進めます。
- 町有施設での空調機器更新による排出削減量を利用してJ-クレジットの認定を申請し、排出権取引に対応します。取引で得た資金は、啓発事業などに充当し、低炭素の取組を推進する人材育成に活用します。

※ 省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

◆ 住民協力による分散型エネルギー地域ネットワーク

- 太陽の恵みご近所支え合い登録を条件とした住宅用太陽光発電の設置補助を行い、災害時においてもエネルギー融通ができる家庭を増加させます。
- 各家庭への家庭用燃料電池（エネファーム）の設置を補助し、普及促進を図ります。

◆ 事業所向けの太陽光発電の設置支援

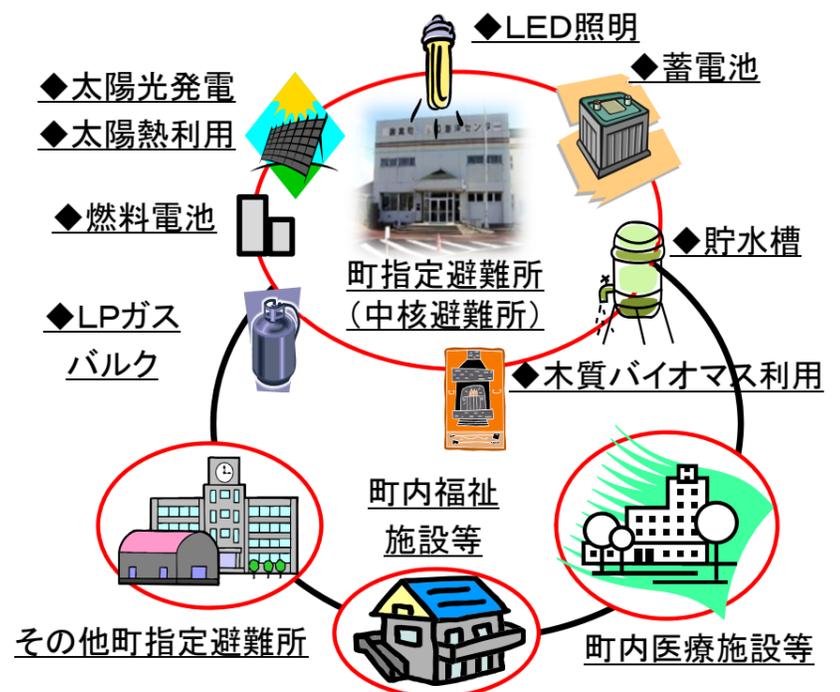
- 住民向け太陽光発電設置補助に加えて、町内事業者も対象とした太陽光発電の設置支援を行い、分散型エネルギーのネットワーク化を推進します。

◆ スマートコミュニティ構想の推進

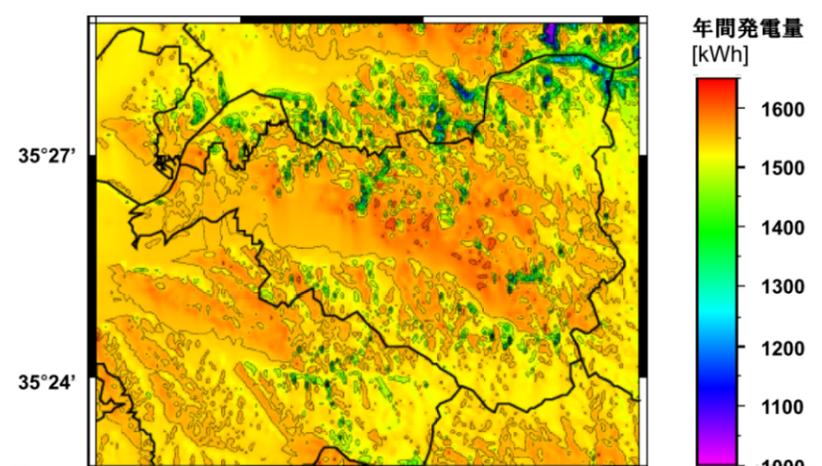
- 自立型避難所と町内の主要公的施設の間でのエネルギー融通による災害に強いまちづくりを実現するとともに、エネルギーや再生可能エネルギーによる地域活力向上の先導的な取組を進めるため、「スマートコミュニティ」構想を策定し推進します。



「御嶽宿さんさん広場」に導入された太陽光発電システム



「自立型避難所」の設置イメージ



御嵩町が作成・公開している「太陽光発電量予測マップ」

5 人づくり・場づくりの推進



みたけエコシンボルキャラクター ミーモくん

方針

小中学校における交通環境学習の普及のため、財団法人交通エコロジー・モビリティ財団による支援を受けて平成24年（2012年）3月に作成した「御嵩町版 交通・環境学習実施要領」と「教材実例」に基づき、環境教育を継続的に進めていきます。また、岐阜大学、岐阜県、県内2市、4民間機関及び御嵩町とで構成する「清流の国 ぎふエネルギー・環境科学ネットワーク」を活用し、広く住民に対して環境教育を進めることで住民の環境意識を高め、御嵩町地球温暖化防止推進指導者の養成へと段階的に進めます。

さらに、町内外の高等学校との連携協定に基づき、環境保全分野における協働・連携を推進し、互いが保有する人的、知的、物的な資源の有効活用を図ります。

加えて、環境モデル都市に関する積極的な情報発信を行うとともに、他の環境モデル都市との交流拡大を図り、取組の一層の普及拡大を目指します。

内容

◆ 小中学校における環境教育の推進

- ・総合的な学習の時間の年間計画や各教科課程の中で環境教育を位置付け、すべての小中学校で推進します。
- ・家電の電気料金等が表示されるエコワットの活用や、学校に設置したソーラーパネルによる発電状況の見える化などの啓発活動を実施します。
- ・小中学校での取組成果を町環境フェア等で発表することにより、広く町民へ周知します。

◆ 地域における環境教育の推進

- ・住民や子ども向けの新エネルギーを主とした環境講座のプログラム・教材やコンテンツ等を新たに開発し、各種イベントや講座、地域・家庭内での取組に活用します。
- ・環境意識の高い住民に対しては、町民と専門家との架け橋的役割とパフォーマンスを含めた指導ができる岐阜県地球温暖化防止活動推進員への登録を促します。また、同推進員は、新たに開発されたプログラム・教材やコンテンツ等を活用し、各種イベント、講座を通じて町民への普及活動を実施します。

◆ 町内外の高校との協働・連携による人材育成を通じた環境教育の推進

- ・町内外の高校との協働・連携に関する協定により、新エネルギー活用の可能性を探りつつ、環境フェアを含めた様々な講座やイベント、講演会などを相互連携して開催します。
- ・専門的かつ地域特性を熟知した町職員等を講師とした特別授業の実施により地域で生徒（人材）を育てる「地域づくり類型」（コース名）を新設します。

◆ 環境モデル都市の取組に関する情報発信

- ・まちづくりや地球温暖化対策等に関する情報を整理し、町民・事業者向けに広く発信します。
- ・「（仮称）御嵩町の環境の日」を制定し、毎年この日に環境モデル都市の取組等に関する啓発イベント（町民懇談会等）を開催します。

◆ 他の環境モデル都市との交流・連携

- ・御嵩町の環境モデル都市の取組のさらなる推進、また国内における環境モデル都市の一層の普及拡大のため、他の環境モデル都市との交流の拡大や取組の連携を模索します。



環境学習(昆虫探し)の実施風景



環境学習(ソーラーカー作り)の実施風景



環境フェアの開催風景

御嵩町環境モデル都市行動計画 概要版

< 発行年月 > 平成26年3月

< 編集・発行 > 御嵩町

〒505-0192 可児郡御嵩町御嵩1239 番地1 TEL 0574-67-2111(代表) FAX 0574-67-1999



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

この計画は、「岐阜県清流の国地域振興補助金」を活用し策定しました。